

電磁誘導による「アルミニウム溶湯非接触型渦巻発生装置」

この装置は、アルミニウムの廃材や多種の軽量スクラップを、アルミ溶湯に渦巻きを発生することで、炉内で効率的に混合するシステムです。

スターラ内の誘導コイルに電流を流すと各コイルに移動磁界が発生します。この移動磁界が炉内のアルミニウム溶湯に作用して誘導電流を流し、移動磁界と誘導電流の相否作用（フレミング左手の法則）によって、アルミニウム溶湯に渦巻力を発生させて攪拌するものです。

また、溶湯との接触がない、非接触型なのでメンテナンスも簡単です。

改善効果

- ・人手がかからず、メンテナンスが簡単です。
- ・操作や制御の変更が容易にできます。
- ・溶解速度が向上するため、生産性が上がります。

設備概要

処理量 (kg/h)	500	1,000
電力 (kW)	25	45
周波数	1 ~ 5Hz	

〈システム図〉

